

2022年1月25日～23日

世論調査（共同、毎日、朝日、産経・FNN）

### 内閣支持率 4ポイント低下 55% 新変異株で 89%が会食自粛

2022/1/23 19:02 (JST)共同通信社



岸田文雄首相

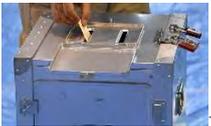
共同通信社が22、23両日実施した全国電話世論調査によると、岸田内閣の支持率は55.9%で、昨年12月の前回調査に比べ4.1ポイント下落した。新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」の感染急拡大を受けて、会食や旅行などを「自粛しようと思う」との回答は89.7%。オミクロン株に感染するかもしれないと「不安を感じている」との回答は76.5%。政府のコロナ対応を「評価する」は54.4%で、前回と比べ6.5ポイント下がった。

「まん延防止等重点措置」について、適用タイミングは「遅過ぎた」との回答は50.2%だった。

回答は固定電話534人、携帯電話525人。

### 夏の参院選比例投票先、「自民」が最多 27% 毎日新聞世論調査

毎日新聞 2022/1/23 16:00 (最終更新 1/23 19:24)



一票を託す有権者（イメージ）＝竹内紀臣

撮影

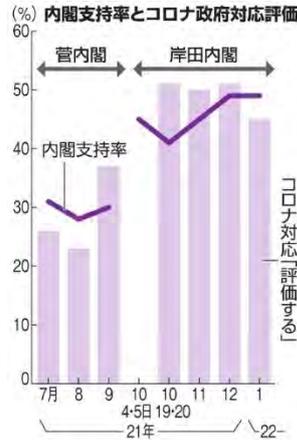
夏の参院選の比例代表で、どの政党に投票したいか聞いたところ、自民党が27%で最多で、日本維新の会が21%が続いた。この他、立憲民主党11%▽共産党5%▽国民民主党4%▽公明党4%▽れいわ新選組3%▽NHK受信料を支払わない国民を守る党1%▽社民党1%——などとなった。「わからない」は22%で、投票先をまだ決めていない有権者も多いとみられる。【佐藤航】

### 岸田内閣支持、横ばい 49% コロナ対応は評価二分 朝日世論調査

朝日新聞デジタル 2022年1月24日 20時22分



「まん延防止等重点措置」の対象に新たに18道府県を追加する方針を決め、取材に応じる岸田文雄首相＝2022年1月24日午後7時7分、首相官邸、上田幸一撮影



朝日新聞社は22、23日に全国世論調査（電話）を実施した。

岸田内閣の支持率は49%と昨年12月の前回調査と変わらず、不支持率は21%（前回23%）。新型コロナウイルスをめぐる政府の対応を「評価する」は45%（同51%）にやや下がり、「評価しない」は38%（同36%）だった。

岸田文雄首相のコロナ対策での指導力について尋ねた。「発揮している」37%、「発揮していない」41%と評価が二分した。70歳以上では「発揮している」45%が「発揮していない」34%を上回った。コロナ対策での首相指導力は、菅義偉前首相時代の昨年1月にも尋ね、「発揮している」15%、「発揮していない」73%だった。

内閣支持率も70歳以上で56%と高齢層で特に高い。また、内閣支持は男性51%、女性48%と男女差が比較的小さいのも特徴だ。

3回目のワクチン接種に対する政府の取り組みを聞くと、「大いに」「ある程度」を合わせ「評価する」は68%で、「あまり」「全く」を合わせた「評価しない」29%を上回った。

ワクチン対応を評価する層で…

残り 596 文字

### 治療受けられぬ不安「感じる」69%、若年層は少なく 朝日世論調査

朝日新聞デジタル渡辺康人 2022年1月24日 21時34分



感染で治療受けられない不安、オミクロン株の影響度

オミクロン株による感染拡大が続くなか、22、23日に実施した朝日新聞社の世論調査（電話）では、「第6波」での人々の意識を尋ねた。

岸田内閣支持、横ばい 49% コロナ対応は評価二分 朝日世論調査

感染した場合に治療を受けられない不安を感じる人は、「大いに」「ある程度」を合わせて69%で、「あまり」「全く」を合わせた不安を感じない人は29%にとどまった。

「第5波」のピーク後にあたる昨年9月11、12日の調査で

は、治療を受けられない不安を感じる人は「大いに」「ある程度」を合わせて 82%だった。

今回の調査で、不安を感じると答えたのは女性の 75%にのぼった。年代別では 60代が 77%だった。不安を「大いに感じる」と答えた人は全体の 22%で、18~29歳の若年層に限ると 8%と少なかった。

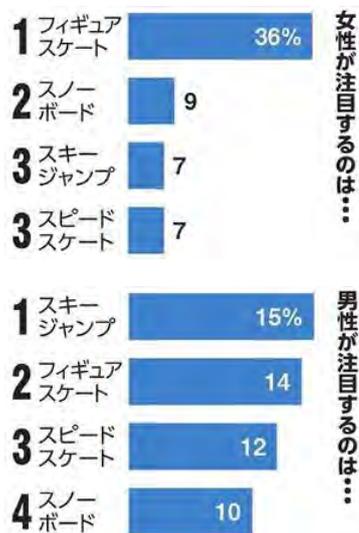
オミクロン株について、これ…  
残り 533 文字

## 北京五輪の注目競技は？ 1位は女性支持がダントツ 朝日世論調査

朝日新聞デジタル渡辺康人 2022年1月24日 21時01分



北京の街頭に設けられた北京冬季五輪のモニュメント=2022年1月21日、高田正幸撮影



22、23日に実施した朝日新聞社の全国世論調査(電話)で、来月4日から始まる北京冬季五輪の「最も注目する競技」を尋ねたところ、トップ3は3位が若者に人気のスノーボード、2位は冬季五輪の華とも呼ばれるスキージャンプ、そして1位は飛び抜けた支持率を得た、あの競技でした。

対象者に自由回答で競技名を一つだけ挙げてもらったところ、2位のジャンプから、3位のスノーボード、4位のスピードスケートまでは10%前後の支持で混戦状態でした。

年代別にみると、ジャンプとスピードスケートは高齢層ほど支持が高く、スノーボードは若年層ほど人気の傾向がみられました。

高齢層は札幌五輪(1972年)以来の日本のお家芸的な競技といえるジャンプやスピードスケートなどに比較的人気が集まったのに対し、若年層はスノーボードなど比較的新しい競技に引き付けられているようです。

そして、2~4位はどれも日本選手団が金メダルを狙える有望競技です。ジャンプは特に男子の小林陵侗選手が今季のW杯優勝をコンスタントに重ね、スピードスケートでは女子の

高木美帆、小平奈緒両選手らを中心に金メダルを狙える種目がこれまで以上にそろっています。

スノーボードもハーフパイプで男子の平野歩夢選手らの金メダルが期待され、スロープスタイルという比較的新しい種目でも日本の躍進が期待されています。

男女で回答に差

そして今回の調査で見事、金…  
残り 642 文字

## ANN世論調査 「会食・旅行を控える」が約9割

ANN2022/01/24 06:26

オミクロン株の感染が広がるなかでおよそ9割の人が会食や旅行を控える考えを持っていることがANNの世論調査で明らかになりました。

調査は22日、23日に行いました。

オミクロン株の感染が広がるなかでの会食や旅行について尋ねたところ、「大幅に控える」と答えた人は45%、「ある程度控える」と答えた人は44%で、合わせて9割近くに上りました。

現在16の都県で実施されている「まん延防止措置」について尋ねたところ、「この決定で良い」という人がおよそ4割、「もっと厳しい対応が必要だ」と答えた人がおよそ3割、「制限は必要ない」という人は2割程度でした。

政府のコロナ対策については「評価する」と答えた人が先月の調査から15ポイント低下し、46%でした。

岸田内閣の支持率は先月から横ばいで51.5%でした。

## ANN/POLL世論調査

2022年1月調査【調査日】2022年1月22・23日(土・日曜日)

【調査方法】電話調査(RDD方式)

【対象】全国18歳以上の男女1847人

【有効回答率】55.5%

内閣支持率

あなたは、岸田文雄連立内閣を支持しますか、支持しませんか？

支持する 51.5%前回比+0.2

支持しない 23.2%前回比-1.5

わからない、答えない 25.3%前回比+1.3

支持する理由は何ですか？次の6つから1つを選んで下さい。

岸田総理の人柄が信頼できるから 18.6%

支持する政党の内閣だから 19.1%

政策に期待が持てるから 11.5%

大臣の顔ぶれが良いから 1.5%

他の内閣より良さそうだから 38.4%

その他 9.7%

わからない、答えない 1.2%

支持しない理由は何ですか？次の6つから1つを選んで下さい。

岸田総理の人柄が信頼できないから 4.5%  
 支持する政党の内閣でないから 25.3%  
 政策に期待が持てないから 32.9%  
 大臣の顔ぶれが良くないから 9.5%  
 他の内閣の方が良さそうだから 6.1%  
 その他 20.4%  
 わからない、答えない 1.3%

社民党 0.5%  
 NHK 受信料を支払わない国民を守る党 0.2%  
 その他の政党 0.1%  
 投票しない 2.9%  
 わからない、答えない 32.3%

政党支持率

党名	支持率 (%)	前回比
自民党	45.1%	4.1
立憲民主党	9.6%	-2.0
公明党	3.8%	0
日本維新の会	8.6%	-1.5
国民民主党	1.7%	-0.4
共産党	3.9%	-0.1
れいわ新選組	1.0%	0.4
社民党	0.4%	-0.2
NHK 受信料を支払わない国民を守る党	0.1%	-0.2
その他	0.6%	-0.2
支持なし、わからない、答えない	25.2%	0.1

参院選 比例代表の投票先

あなたは、いま参議院選挙で投票するとしたら、比例代表選挙では、どの政党に投票しますか？ご自由に挙げて下さい。

自民党 33.8%  
 立憲民主党 9.8%  
 公明党 3.7%  
 日本維新の会 9.3%  
 国民民主党 1.7%  
 共産党 4.5%  
 れいわ新選組 1.2%

政府の新型コロナ対策の評価

あなたは、政府が行っている新型コロナウイルス対策について、評価しますか、評価しませんか？

評価する 46%  
 評価しない 34%  
 わからない、答えない 20%

まん延防止措置の適用

岸田内閣は、1都12県に、2月13日までのまん延防止等重点措置の適用を新たに決めました。あなたは、この決定についてどう思いますか？次の3つから1つを選んで下さい。

この決定で良い 42%  
 まん延防止等重点措置のような制限は必要ない 21%  
 もっと厳しい対応が必要だ 31%

3回目のワクチン接種

あなたは、新型コロナワクチンの3回目の接種について、どのようにお考えですか？次の4つから1つを選んで下さい。

すでに接種した 4%  
 すぐに受けたい 22%  
 接種案内が来たら受けたい 59%  
 受けたくない 13%  
 わからない、答えない 2%

会食や旅行

「オミクロン株」の感染が広がっています。あなたは、会食や旅行について、どのように思いますか？次の4つから1つを選んで下さい。

大幅に控える 45%  
 ある程度控える 44%  
 あまり控えない 6%  
 まったく控えない 3%  
 わからない、答えない 2%

ワクチン・検査パッケージの一時停止

政府は、ワクチンの接種証明や陰性証明を活用して、飲食やイベントなどでの行動制限の緩和を、可能にする「ワクチン・検査パッケージ」を、原則として一時停止することを決めました。あなたは、この決定を支持しますか、支持しませんか？

支持する 58%  
 支持しない 30%  
 わからない、答えない 12%

物価上昇

あなたは、日々の暮らしの中で、食料品や日用品などの値上がりを感じますか、感じませんか？

感じる 75%  
 感じない 23%  
 わからない、答えない 2%

北京五輪への政府関係者派遣見送り

岸田内閣は、中国の人権問題などを理由に、来月の北京オリンピック・パラリンピックに、大臣などの政府関係者を派遣しないことを決めました。あなたは、この決定は適切だと思いますか、適切でないと思いますか？

適切だ 68%

適切でない 17%

わからない、答えない 15%

安定的な皇位継承

天皇制についてお伺いします。あなたは、これから天皇制が安定して続くためには、最も何が必要だとお考えですか？次の4つから1つを選んで下さい。

一代限りの女性天皇を認める 12%

女性皇族が結婚しても皇室を離れない「女性宮家」をつくる 7%

父方に天皇の血を引く旧宮家の男子を養子に迎える 10%

天皇の子どもが性別に関係なく即位できるようにする 63%

わからない、答えない 8%

文通費の見直し

国会議員に、交通費や通信費として支給されている、月額100万円の文書通信交通滞在費は、領収書が必要なく、使い道を公開する必要もありません。あなたは、使い道を明らかにするような見直しが必要だと思いますか、見直す必要はないと思いますか？

見直しが必要だ 90%

見直す必要はない 7%

わからない、答えない 3%

**岸田内閣支持率66% 佐渡金山「推薦すべき」5割超**

産経新聞 2022/1/24 11:36

産経新聞社とFNN（フジニュースネットワーク）は22、23両日に合同世論調査を実施した。岸田文雄内閣の支持率は66・9%で、前回調査（昨年12月18、19両日）から0・5ポイント増えた。不支持率は26・8%。昨年10月の岸田内閣発足以降、支持率は4カ月連続で60%台で、高い水準を維持している。

新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」が感染拡大する中、政府の新型コロナ対策を評価する回答は54・2%に上り、「評価しない」（36・3%）を上回った。一方、岸田首相が新型コロナ対策でリーダーシップを発揮しているかについては「思う」（44・7%）と「思わない」（47・7%）で賛否が割れた。

世界文化遺産の国内推薦候補に選ばれた「佐渡島の金山」（新潟県）について、政府は国連教育科学文化機関（ユネスコ）に推薦すべきだと思うかを尋ねたところ、「思う」が53・8%と半数を超え、「思わない」（33・9%）を上回った。

首相が検討を指示している敵基地攻撃能力の保有に関しては、「持つべきだ」（43・5%）より「持つべきでない」（50・6%）が多かった。

オミクロン株の感染拡大を受けて、会食や旅行などを控えようと思うと回答した人は88・8%に上った。「新しい資本主義」を掲げる首相が重視する賃上げに関し、今年、労働者の賃金が「相当上がる」「ある程度上がる」と答えたのは計16・6%だったのに対し、「ほとんど上がらない」「まったく上がらない」は計81・9%で、賃上げへの期待は希薄だった。

各政党の支持率は、自民党40・3%▽日本維新の会6・7%▽立憲民主党6・0%▽公明党3・2%▽共産党2・7%▽国民民主党1・3%—などの順で、支持政党はないと答えたのは35・4%だった。

調査では内閣支持率に関し、回答が不明確な場合に「どちらかといえば」と再度質問して回答を得た。

**敵基地攻撃能力 必要性はまだ理解欠く**

産経新聞 2022/1/24 17:09 岡田 美月

産経新聞社とFNN（フジニュースネットワーク）の合同世論調査で、政府が検討を進める敵基地攻撃能力の保有の是非を尋ねたところ、支持政党や性別によって賛否の割合が大きく異なった。

全体では敵基地攻撃能力を「持つべきだ」と答えた人は43・5%で、「持つべきでない」と答えた人（50・6%）を下回ったが、自民党支持層は52・7%、日本維新の会支持層では53・1%が「持つべきだ」と回答。「持つべきでない」と答えたのはそれぞれ40・8%、42・0%だった。

逆に立憲民主党支持層では67・2%が「持つべきでない」と答え、「持つべきだ」は29・7%にとどまる。無党派層では「持つべきだ」は35・2%で、「持つべきでない」の58・9%が上回った。

男女別では女性の回答者の方が慎重な意見が多い。男性は「持つべきだ」と答えた人が56・5%で、「持つべきでない」の40・2%を上回ったのに対し、女性は「持つべきだ」と答えた人が31・3%で、「持つべきでない」の60・4%を大きく下回った。

北朝鮮による相次ぐミサイル発射で日本を取り巻く安全保障環境の緊張感が高まる一方だが、能力保有の必要性への国民の理解は広がりやを欠いているのが実態だ。（岡田美月）

**不支持率は低水準 「臨機応変」に好意的**

産経新聞 2022/1/24 20:35

産経新聞社とFNNの合同世論調査で、岸田文雄内閣の支持率は新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多を更新する局面でも66・9%と依然高い水準を維持している。感染拡大に反比例して支持率が下落した菅義偉前内閣とは対照的といえる。政策面での臨機応変な対応が好意的に受け止められているようだが、コロナ対策の評価は前回調査から10ポイント以上も下落しており、足元は不安定だ。

「さまざまな事情で、元の養育者から受け取れないという声も聞いている」

首相は24日の衆院予算委員会でこう答弁し、18歳以下へ

の10万円相当の給付方法を見直す考えを示した。既存の児童手当の仕組みを給付に利用したため、昨年9月以降に離婚した場合、実際に子供を育てているひとり親家庭に届かないケースが出ており、立憲民主党は18日、支給を求める法案を衆院に提出している。首相は予算委の初日、野党の追及を受ける前に見直しに動いた形だ。

首相側近は「首相は世の中の空気を読んで、その上で自ら決断し、実行している」と強調する。首相の柔軟な姿勢は野党支持層にも評価され、今回の世論調査では立民支持層の52.8%が岸田内閣を支持すると回答した。

ただ、岸田内閣が積極的な理由で支持されているとはいえない。支持する理由を聞くと、「他によい人がいないから」(34.1%)が最も多く、「実行力に期待できるから」(27.8%)、「人柄が信頼できるから」(14.2%)、「政策がよいから」(6.3%)を上回る。これは内閣支持層のもろさを意味する。弾道ミサイルの発射を繰り返す北朝鮮を念頭に、首相は「敵基地攻撃能力」の保有の検討を訴えるが、世論調査では「持つべきでない」(50.6%)が「持つべきだ」(43.5%)を上回った。自民党を支える保守層が求める防衛政策の一つだが、首相はその必要性を国民に伝え切れておらず、北朝鮮に危機感を強める保守層の離反を招きかねない。

高い支持率を維持する首相だが、「支持率(の高さ)は実際の投票行動に結びつかない。保守の支持層を固めれば選挙に勝てる」(自民重鎮)との指摘もある。政権の継続を左右する参院選を半年後に控える首相にとっては、集票の基盤となる保守支持層の共感を得られる政策実行が求められている。(長嶋雅子)

## 産経・FNN合同世論調査 オミクロンで「会食控える」88%

産経新聞 1/24(月) 15:52 配信



新型コロナウイルスの感染者数を伝える

るニュースを流す東京・渋谷のスクランブル交差点の電光掲示板＝22日午後、東京都渋谷区(納富康撮影)

産経新聞社とFNN(フジニュースネットワーク)が22、23両日に実施した合同世論調査で、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大を受け、会食や旅行を「控えようと思う」との回答が88.8%を占めた。ワクチンの3回目接種についても「早く接種したい」が32.8%、「急がないが接種したい」が47.6%と計8割を超えた。一方、感染状況への警戒感には微妙な年代差も出た。会食や旅行を控えるとの回答は50代以上でいずれも9割を超えたが、40代(82.8%)、30代(85.8%)、18～29歳(87.2%)では9割を切った。3回目のワクチンを「接種したい」との回答を年代別にみると、60代(90.6%)、70歳以上(88.0%)

が9割前後だったのに対し、30代(66.8%)、40代(70.9%)で低かった。副反応への忌避感が影響した可能性がある。蔓延(まんえん)防止等重点措置についても若いほど懐疑的な意見が多かった。「あまり効果はない」「全く効果はない」の合計は18～29歳(46.2%)、30代(43.8%)、40代(46.3%)で4割を超えたが、70歳以上は31.1%、50代も33.7%だった。

## 内閣高支持率も「コロナ対策」評価下落 FNN 世論調査 国内

FNN2022年1月24日 月曜 午後0:44

FNNが、この週末に実施した世論調査で、岸田内閣の支持率は、2021年12月から、わずかに増えて66.9%と、6割台後半を維持している。

今回のFNN世論調査の結果について、フジテレビ政治部・三嶋唯久編集委員が解説する。

島田彩夏キャスター「今月も内閣支持率が67%近くになるなど、ずっと高い水準を維持していますね?」

三嶋編集委員「発足以来、6割を維持しているということで、順調のように見えます。内閣支持率を支持政党別に見ると、立憲民主党や日本維新の会を支持する人や支持政党のない人も、半数以上が、岸田内閣を支持すると答えています。岸田内閣の手堅い政権運営や、争点になりそうな問題を素早く修正する柔軟さが、こうした支持率につながっているとみられます。ただ今回、政府の新型コロナ対策を評価するという人が54.2%と、初めて下がりました。さらに、岸田内閣が、新型コロナ対策でリーダーシップを発揮しているかと聞いたところ、そう思わない人が47.7%と、していると思う人より上回っています」

島田キャスター「オミクロン株の感染急拡大が関係しているのでしょうか?」

三嶋編集委員「感染拡大を抑えられていないとの評価もあるものとみられます。また、新型コロナの病床を確保するため、一般診療用の病床や救急搬送が制限されることについて、コロナ病床の確保を優先すべきかと聞いたところ、そう思わない人が54%と半数を超えています。今後、感染拡大と医療の逼迫(ひっばく)への対策をどう打ち出すかが、支持率を左右しそうです」

## 立民三重苦 支持率続落、市長選敗北、連合が牽制

産経新聞 2022/1/24 20:10 沢田 大典

産経新聞社とFNN(フジニュースネットワーク)が22、23両日に実施した合同世論調査で、立憲民主党の政党支持率は6.0%にとどまった。昨年の泉健太代表の就任以降、続落傾向は止まらない。最大の支援組織である連合からは先の衆院選で連携した共産党との共闘を明確に否定され、23日には沖縄県名護市長選で推薦候補が敗れるなど、野党第一党は夏の参院選を前に「三重苦」に陥っている。

立民の支持率は、枝野幸男前代表の辞任に伴う代表選告示直

前の昨年11月13、14日の調査で9・0%だった。しかし、泉氏が就任後初の調査（12月18、19日）では7・2%に下がり、今回はさらに1・2ポイント減少した。いずれの調査でも日本維新の会を下回っており、党内には危機感が広がる。泉氏は反転攻勢のきっかけをつかむため、「批判ばかり」とされる党のイメージを「政策立案型」へと転換しようと試みている。24日の衆院予算委員会では、泉氏が19日に提案した18歳以下への10万円相当の給付方法の見直しを岸田文雄首相が表明したと指摘し、「立民の存在意義があった」と成果を誇った。

一方、24日は「野党によるチェックは非常に大事だ」と述べ、総務省による令和4年度予算案の支出明細書の誤りや、国土交通省の統計不正などで政府を追及した。質疑後は「追及と提案がバランスよく出せた」と記者団に自賛した。

立民のベテラン議員は「提案も批判もシングルヒットだが続けていくしかない」と話す。先行きが明るいとは言い難い。泉氏の代表就任後、初めて全国的な注目を集めた23日の名護市長選で、立民の推薦候補は大差で敗れた。泉氏は在日米軍基地からのオミクロン株の感染拡大を批判。日米地位協定の改定や米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設工事の中止を主張したが、勢いをそがれる結果となった。

連合との関係も不安定だ。連合は「目的が大きく異なる政党や団体などと連携・協力する候補者は推薦しない」と、共産と共闘する候補を支援しないとする参院選の基本方針素案をまとめた。しかし、共産の小池晃書記局長からは24日の記者会見で「タイムリミットが近づきつつある。参院選の選挙協力に向けた正式な政党間協議を速やかに開始することを呼びかける」と決断を迫られた。

参院選の改選1人区で野党候補の一本化を模索している泉氏は股裂きの状態にある。（沢田大典）

## FNN・産経合同世論調査 岸田内閣支持率 66.9%に微増 世論調査【2022年1月】

FNN2022年1月24日 月曜 午前11:40

問1 岸田内閣を支持するか、支持しないか。

1.支持する 66.9% 2.支持しない 26.8% 3.わからない・言えない 6.3%

問2-1 「支持する」と答えた人は、その理由は何か。

1.岸田総理の人柄が信頼できるから 14.2%  
2.政策がよいから 6.3%  
3.実行力に期待できるから 27.8%  
4.自民党中心の内閣だから 16.5%  
5.他によい人がいないから 34.1%  
6.わからない・言えない 1.2%

問2-2 「支持しない」と答えた人は、その理由は何か。

1.岸田総理の人柄が信頼できないから 4.7%  
2.政策がよくないから 16.7%  
3.実行力に期待できないから 36.5%  
4.自民党中心の内閣だから 34.0%

5.他によい人がいるから 6.2%

6.わからない・言えない 1.9%

問3 どの政党を支持するか。

1.自民党 40.3%  
2.立憲民主党 6.0%  
3.日本維新の会 6.7%  
4.公明党 3.2%  
5.国民民主党 1.3%  
6.共産党 2.7%  
7.れいわ新選組 0.8%  
8.社民党 0.7%  
9.NHK受信料を支払わない国民を守る党 0.3%  
10.その他の政党 0.4%  
11.支持政党はない 35.4%

12.わからない・言えない 2.3%

問4 岸田内閣に取り組んでほしい政策は何か。（2つを選択）

1.新型コロナウイルス対策 45.4%  
2.景気・雇用 34.5%  
3.年金・医療・介護 36.8%  
4.行政改革・財政再建 15.0%  
5.外交・安全保障 14.3%  
6.子育て支援・少子化対策 25.9%  
7.環境・エネルギー政策 11.6%  
8.憲法改正 8.6%  
9.それ以外 0.2%  
10.わからない・言えない 0.5%

問5 政府の新型コロナウイルス対策を評価するか、評価しないか。

1.評価する 54.2% 2.評価しない 36.3% 3.わからない・言えない 9.6%

問6 岸田首相が、新型コロナウイルス対策でリーダーシップを発揮していると思うか、思わないか。

1.思う 44.7% 2.思わない 47.7% 3.わからない・言えない 7.6%

問7 オミクロン株の感染拡大を受けて、会食や旅行などを控えようと思うか、思わないか。

1.思う 88.8% 2.思わない 10.3% 3.わからない・言えない 0.9%

問8 政府は、今月、16都県にまん延防止等重点措置を適用した。あなたは、まん延防止等重点措置が、感染拡大の防止にどの程度効果があると思うか。

1.非常に効果がある 2.4%  
2.ある程度効果がある 57.3%  
3.あまり効果はない 33.1%  
4.まったく効果はない 5.8%  
5.わからない・言えない 1.3%

問9 新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種について、どう考えるか。

1.早く接種したい 32.8%

2.急がないが接種したい 47.6%

3.接種したくない 14.7%

4.すでに接種した 3.4%

5.わからない・言えない 1.4%

問 10 新型コロナウイルスの病床を確保するために、一般診療用の病床や救急搬送が制限される事態も起きている。今後の感染拡大に備えて、一般診療用の病床よりもコロナ病床の確保を優先すべきと思うか、思わないか。

1.思う 36.2% 2.思わない 54.0% 3.わからない・言えない 9.9%

問 11 岸田総理大臣は、賃上げの実現を掲げている。今年、労働者の賃金が上がると思うか、上がらないと思うか。

1.相当上がる 0.6%

2.ある程度上がる 16.0%

3.ほとんど上がらない 64.4%

4.まったく上がらない 17.5%

5.わからない・言えない 1.5%

問 12 北朝鮮がミサイルの発射を繰り返す中、岸田首相は、敵の基地を攻撃する能力を持つことも含めて検討すべきだとの考えを表明している。日本は現在、敵基地攻撃能力を持たないとしているが、今後、持つべきか、持つべきでないか。

1.持つべき 43.5% 2.持つべきでない 50.6% 3.わからない・言えない 5.8%

問 13 文化審議会が、ユネスコの世界文化遺産に推薦する候補に、新潟県の「佐渡島の金山」を選んだが、韓国は朝鮮半島出身者が強制労働させられたとして反対している。政府は推薦に慎重だが、「佐渡島の金山」を世界文化遺産に推薦すべきだと思うか、思わないか。

1.思う 53.8% 2.思わない 33.9% 3.わからない・言えない 12.4%

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない

FNN・産経合同世論調査【2022年1月】

RDD（固定・携帯電話）

全国の18歳以上の有権者1,052人

期間：2022年1月22日・23日